

第3次千葉県青少年総合プラン 平成30年度事業評価シート

事業NO	137
------	-----

事業名	青少年ネット被害防止対策事業		
担当課・室・班名	県民生活・文化課	問合せ先(電話番号)	2291

1 事業の概要

柱	Ⅲ	基本目標	6	基本方策	⑬情報化社会への対応					
事業内容	青少年の利用頻度の高いサイトを監視するとともに、関係機関と連携し、いじめ、非行行為、犯罪被害などの防止を図る。									
当初予算額(千円)	H30年度	5,409	R元年度	5,409	R2年度		R3年度		R4年度	
決算額(千円)		4,628								
財源内訳	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源
	○		○							

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

・ネット監視員2名を配置し、パソコンと携帯電話を使用して、県内の全ての中学校、義務教育学校、高校、特別支援学校等(計632校)の生徒が行っているSNSなどについて、監視を行った。問題のある書き込みを見つけた場合の措置として、特に問題のある書き込み(レベル2、3)を発見した場合に、教育委員会等に連絡し、削除を含めた生徒への指導を依頼した。自殺、ネットいじめ、事件性の高いものについては、学校、教育委員会、警察など関係機関と早急に対応した。  
 ・学校、関係機関の要請に応じ、児童生徒、保護者、学校関係者等が主催する講演会において、職員を派遣し講演を実施した。

(2)事業の成果

・平成30年度は4,317人の問題のある書き込みを発見し、特に問題のあるものについては、学校等を通じて指導・削除等を行った。  
 ・学校、諸機関の要請に応じ、児童生徒、保護者、学校関係者等が主催する講演会において、職員を派遣し、講演を実施した。昨年度は54回実施し14,996名参加があった。インターネットの適正利用について啓発を図ることができた。  
 ・当該で実施するネットパトロールの方法を広く周知し、地域全体で見守る体制作りを推進するため、ネットパトロール実施マニュアルを配布した。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・引き続きネットパトロールを継続し、子どもたちを見守りながら、関係機関と連携・協力し、指導や保護につなげていく。  
 ・インターネットの適正利用について、効果的な啓発の仕方を検討していく。  
 ・地域の状況に精通している市町村においてネットパトロールを実施することが有効であることから、ネットパトロール担当者に対する講習、マニュアルの配付等、市町村が独自にネットパトロールを実施するように、一層支援を進める。

○参考

関連指標	[地域におけるネット被害防止対策強化] 青少年のネット被害防止対策(ネットパトロール)を実施している市町村数					目標	12市町村以上
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	
	4市町村	9市町村	11市町村				

4 委員意見

5 担当課回答

--	--

第3次千葉県青少年総合プラン 平成30年度事業評価シート

事業NO	139
------	-----

事業名	サイバー犯罪対策の推進		
担当課・室・班名	警)サイバー犯罪対策課	問合せ先(電話番号)	043-201-0110

1 事業の概要

柱	Ⅲ	基本目標	6	基本方策	⑬情報化社会への対応					
事業内容	県下の学校等教育機関を対象としたネット安全教室を開催し、インターネットを利用する上での規範意識の向上や、情報セキュリティ対策に関する知識の向上を図る。									
当初予算額(千円)	H30年度	234	R元年度	193	R2年度		R3年度		R4年度	
決算額(千円)	H30年度	188	R元年度		R2年度		R3年度		R4年度	
財源内訳	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源
	○		○							

2 事業実績・評価等

(1) 事業の実施結果

○平成30年度中のネット安全教室開催実績
・児童生徒 763回、152,958人
・教職員保護者等 580回、39,063人

(2) 事業の成果

・インターネットを利用する児童生徒に対し、そこで発生する犯罪やトラブルの被害者にも加害者にもならないよう、ネットにおける自衛能力としてネットリテラシーについて広報啓発を中心にを行い、その浸透を図った。
--

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

・青少年に関連する最新のネット動向を指導者側がよく理解し、それらを踏まえた広報啓発を行う必要がある。
・当事者である青少年とそれらを取りまく大人との情報格差が生じている。
・保護者に関し、フィルタリング及びペアレンタル・コントロールに対する理解が遅れている。
上記を踏まえ、引き続き千葉県全域でネット安全教室を実施していく。

○参考

関連指標	目標					
	基準年	H30	R1	R2	R3	R4

4 委員意見

5 担当課回答

--	--

第3次千葉県青少年総合プラン 平成30年度事業評価シート

事業NO	140-1
------	-------

事業名	情報教育の充実		
担当課・室・班名	教)学習指導課(教育政策課)	問合せ先(電話番号)	4176

1 事業の概要

柱	Ⅲ	基本目標	6	基本方策	⑬情報化社会への対応					
事業内容	①情報ネットワーク事業として、県立学校すべての教室からインターネットを安全かつ快適に利用できる環境を整備、提供し、情報教育を推進する ②情報処理技術者派遣事業として、外部講師を県立高等学校に派遣し、セキュリティー及びシステムの運用管理についての研修を行う									
当初予算額(千円)	H30年度	351,169	R元年度	358,786	R2年度		R3年度		R4年度	
決算額(千円)		348,746								
財源内訳	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源
		国庫		国庫						

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

① 千葉県学校教育情報ネットワーク(ICE-Net)の運用保守を行った。文部科学省が策定した「学校教育情報セキュリティポリシーガイドライン」に準拠するよう、学習系ネットワーク、校務系ネットワーク、校務外部接続系ネットワークの3系統をそれぞれ分離した強靱なセキュリティ対策をとっている。

② 情報技術者派遣事業として、システムエンジニアを県立高校3校に派遣し、校内ネットワークの設計・構築及び設定の変更等、校内LAN運営管理の支援をおこない、校内での情報漏えい対策を強化した。

(2)事業の成果

① 千葉県学校教育情報ネットワークからの情報漏えい事故発生件数は、0件であった(発生しなかった)。

② 学校が購入し、活用されているコンピュータについてのセキュリティ対策について、校内担当者の理解が進み、セキュリティ対策が向上した。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

今後、学校教育のICT化が益々進むことが見込まれるとともに、ICTを用いた新しい技術が取り入れられていくことが期待される。ICTインフラの整備については、技術革新の状況を見据えながら、新たに発生する脅威に対しても、万全の体制を維持していく必要がある。

○参考

関連指標	目標					
	基準年	H30	R1	R2	R3	R4

4 委員意見

5 担当課回答

--	--

第3次千葉県青少年総合プラン 平成30年度事業評価シート

事業NO	140-2
------	-------

事業名	情報教育の充実		
担当課・室・班名	教)学習指導課(児童生徒課)	問合せ先(電話番号)	4066

1 事業の概要

柱	Ⅲ	基本目標	6	基本方策	⑬情報化社会への対応					
事業内容	教職員が児童生徒に情報モラル教育を行うにあたり必要な知識や効果的な指導方法を身に付けることを目的に、情報モラル教育研修講師を派遣する。									
当初予算額(千円)	H30年度	351,169	R元年度	358,786	R2年度		R3年度		R4年度	
決算額(千円)		348,746								
財源内訳	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源	県単(○)	他財源
		国庫		国庫						

2 事業実績・評価等

(1)事業の実施結果

児童生徒向けの情報モラルに関する講演と教職員を対象とした情報モラル教育研修において、特別支援学校・県立学校19校、市町村立学校81校に講師を派遣した。

(2)事業の成果

講師派遣について、平成29年度の80回から今年度は100回へと増やし活動を強化したことで、より多くの学校において、児童生徒向けの情報モラルに関する講演と教職員を対象とした情報モラル教育研修を実施することができ、児童生徒の指導に携わる教員等の指導力向上につなげた。

3 事業の課題・問題点、今後の方向性等

今後も各学校において、情報モラル教育を充実するため、直接児童生徒の指導に携わる教員等の指導力向上を図ること目的に、今年度も、昨年度同様100回の活動を実施していく。

○参考

関連指標	目標					
	基準年	H30	R1	R2	R3	R4

4 委員意見

5 担当課回答

--	--